



大浦だより

令和 6 年 12 月 24 日発行
舞鶴市立大浦小学校

教育目標「希望に燃えて 伸びゆかん」
心やさしく、人を大切にする子 自分の考えをもち、共に学び合う子
自分を表現し、相手を大切にする子 ふるさとを愛し、誇りに思う子

〒625-0133 舞鶴市字平 1583 番地
TEL (0773)-68-0002
FAX (0773)-68-0007
HP <https://oura-maizuru.edumap.jp/>



花いっぱいの大浦 ～心も優しさの花をいっぱいに～



大浦半島の山々がようやく赤や黄に色づいてきたかと思えば寒気が入り込み、冬が突然やってきたかのようです。心地良い気候の中で紅葉を楽しむ時期が短く感じる今年の秋でした。

まだ秋が到来していない頃、大浦子育て支援協議会様の御支援で、中庭に花壇を作らせていただきました。中庭のモミジの木を中心に、半径 1 m の円状に花壇用ブロックを置く計画をしました。その際、「長さ 30 cm のブロックをいくつ買えばいいでしょう」という問いをポスターにして全校児童に呼びかけることにしました。すぐに反応が返ってくるのが大浦の子どもたちのよいところです。うれしいことに、「校長先生、ブロックは〇個いると思います。わけは・・・」と 5・6 年生の児童数名が理由も添えて説明してくれました。一方、計算する時に使う円周の公式を習っていない 4 年生の児童が、休み時間に 1 m 定規を持ち出してモミジの木の周辺部分を測っていました。習っていないからできないと諦めるのではなく、持っている知識を存分に使い、試行錯誤する 4 年生の児童にはとても感心しました。正しい答えを導いたことだけを褒めるのではなく、それまでの過程での工夫や努力を大いに褒めていきたいものです。



完成した花壇には、低学年の児童が心を込めて花を植えてくれました。中庭にたくさんのきれいな花が咲いていると、子どもたちも自然とその周辺に集まり、竹馬や鬼ごっこをして遊ぶことが多くなったと感じます。花は心を癒してくれます。これからも子どもたちと一緒に、花いっぱいの過ごしやすい学校にしていくつもりです。

ところで、12 月 2 日（月）から始まった人権旬間の今年のテーマは「さかせよう 大浦のやさしさの花」でした。人権旬間では、各学年で取り組む内容を決め、意識して実践をしてきました。また、人権学習の授業参観では、友達や自分のことについて考える場面を保護者の皆様に公開しました。人権旬間は終わりましたが、子どもたちの心の中にも優しさの花が咲き続けることを願っています。

2 学期には秋季運動会や持久走大会など、たくさんの学校行事がありました。様々な場面で保護者や地域の皆様にお世話になったお陰で、どの行事でも子どもたちの努力する姿や成長が見られ、無事に終えることができました。明日から冬休みとなり、クリスマスや年末年始を迎えますが、御家庭や地域での子どもたちの見守りを引き続きよろしくお願いいたします。そして、3 学期の始業式には元気な子どもたちと出会えることを願っています。皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

校長 鎌野 高信 教職員一同

○本校教育活動の広報発信の一つとして、学校ホームページを随時更新いたします。
右記の QR コードからも開くことができます。ぜひ御覧ください。

